

平成30年度 貝塚市全体財務書類【概要版】

資金収支計算書
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:百万円)

期首資金残高 (平成29年度末)	3,657
当期(平成29年度)収支	△ 456
1 業務活動収支	2,591
2 投資活動収支	△ 2,589
3 財務活動収支	△ 459
当期(平成29年度)歳計外収支	△ 1
期末資金残高 (平成30年度末)	3,199

貸借対照表
平成31年3月31日現在

(単位:百万円)

資産の部 (市が保有する資産)		負債の部 (将来世代の負担額)	
資産合計	90,815	負債合計	43,277
1 固定資産	83,363	1 固定負債	38,336 令和2年度以降に支払わなければならない債務
① 有形固定資産	81,232		
道路、公園、学校など具体的な形のある固定資産			
② 無形固定資産	117	2 流動負債	4,849 令和元年度に支払わなければならない債務
ソフトウェア、電話加入権等の具体的な形のない固定資産			
③ 投資等	1,923		
文化振興事業団などの団体への出資金や、基金、長期延滞債権など			
2 流動資産	7,451		
現金・預金、財政調整基金、市税等の未収金など			
内 資金残高	3,199		
		純資産の部 (現在までの世代の負担額)	
		純資産合計	47,538

行政コスト計算書
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:百万円)

純経常行政コスト	43,612
1 経常費用	55,051
① 業務費用	23,035
業務に必要な人件費や物件費、支払利息、各種引当金の繰入等の費用	
② 移転費用	30,015
補助金やその他の費用など	
2 経常収益	9,438
使用料及び手数料、その他経常経費のみに充当する収入	
臨時行政コスト	150
1 臨時損失	150
災害復旧費、固定資産除売却損やその他臨時的な費用	
2 臨時利益	0
資産売却益やその他臨時的な収益	
純行政コスト	43,762
経常行政コストと臨時行政コストの合計	

純資産変動計算書
平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位:百万円)

期首純資産残高 (平成29年度末)	48,231
当期(平成29年度)変動高	△ 693
1 純行政コスト	△ 43,762
2 財源調達	42,980
税金や国府等補助金など	
3 その他変動	89
有形固定資産や貸付金・基金等の増減及び資産評価差額、無償所管換	
期末純資産残高 (平成30年度末)	47,538

● 本財務書類については、平成28年度より統一的な基準に基づき作成しています。
● 表中金額については、各表間の整合性を調整しているため、本表四捨五入と一致しない場合があります。